

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」～

今月の表紙：常呂町の大地を照らす日の出
(紹介は14ページ)

2023.1
No.
58P

「持続可能な常呂農業と地域社会」を次世代へ引継ぐために



常呂町農業協同組合
代表理事組合長 川上和則

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆さまにおかれましては、つがなく新しい年を迎えることとお慶び申し上げます。また、日頃よりJA事業活動にご理解ご協力を頂いておりまことに心から感謝申し上げます。

昨年を振り返り

昨年の本町農業におきましては、春先には風害・霜害による甜菜の植え直しや蒔き直しが発生したものの、その後大きな災害にも見舞われず順調に生育しました。最終的な数字は確定しておりませんが、概ね各作物とも計画を上回る数量・取扱高となることとなり、豊作年になりました。農業情勢は激動の年となりました。

昨年を振り返り

昨年の本町農業におきましては、春先には風害・霜害による甜菜の植え直しや蒔き直しが発生したものの、その後大きな災害にも見舞われず順調に生育しました。最終的な数字は確定しておりませんが、概ね各作物とも計画を上回る数量・取扱高となることとなり、豊作年になりました。農業情勢は激動の年となりました。

した。令和4年2月にロシアがウクライナに侵攻を開始したことで国際情勢が不安定となり、また急激な円安もあり肥料や燃油、飼料の価格が高騰しました。生産現場では営農継続が危ぶまれるとの声が高まり、食料安全保障の観点からも、管内組合長が東京で中央要請を行い、また全国段階では「生産資材高騰対策等基本農政確立緊急全国大会」を開催し、国の対策支援策を要請してまいりました。

また、飼農対策としては、飼料高騰支援措置対策として、国の支援に加えて北見市とJAとが支援を行いました。

第9次農業振興計画の2年次目を終えて

一方で生産資材価格が高騰している中で、経営所得安定対策の各作物の交付単価が見直しとなり、小麦・甜菜・大豆では引き下げとなりました。甜菜においては、砂糖の消費減退と糖業の在庫量増大から、今後段階的に

交付対象数量が引き下げられることとなりました。今後重大な局面を迎えることになりますが、甜菜は輪作体系の維持には重要な作物であることから、今後もJAグループを中心に関係機関と連携しながら、国に必要な支援を講じるように訴え続けなければならぬと考えております。

今一度、次世代へ夢と希望を持てる農業を引き継ぐためにも、JAに結集する必要があると思いますので、組合員一人一人のご協力をお願い申し上げます。

水害対策としては、本年11月に福山23号ポンプ場が完成し、今後の福山地区の災害における排水能力発揮に大いに期待できるものと思っておりますし、今後も他の地区における施設整備に向けて関係機関と連携を図ります。

次世代の地域農業を担う人材育成(ひとつづくり)

本年は肥料情勢や日本の食料安全保障を話題として提供し議論をしましたが、生産資材価格が高止まりしていることに対してする意見なども出ておりました。また、畑地灌漑事業については、将来を見据えた上で導入検討の必要があるとの声もあり、継続的な議論が必要と考えております。

また女性向けの地区対話集会も開催し、多くの意見や質問が出され、次年度以降も女性部と協力し、女性の声や意見をJA事業運営に反映させてまいりました。

JAは次世代のリーダー育成を目的とした「リーダー育成研修」と「農業後継者育成研修」を実施いたしました。先進的な視察先での研修を肌で感じたり、JA結集の重要性などを学ぶことで、次世代の地域を担うリーダーもしくはその後継者として育つってくれることを期待しております。

JA結びに、本年も組合員の皆様が健康に留意され、常呂農業が更なる発展と成長を目指し、豊穣の秋を迎えられますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和5年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

代表理事長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておりれるること存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年を振り返り

昨年は天候に恵まれ地
域によって少雨の影響が見ら
れたものの、その後は順調に推移しておきました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な

大雨、9月の台風により、一部地域、作物によつては、生育に大きな影響が出たものがございましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な田安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図つて参ります。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

輸入大国日本の 食糧安全保障のために

力強い農業と豊かな魅力ある
地域社会の実現に向け

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。この謂われにやかり、本年が豊穰の年となれています。この謂われにあります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自國の国民が消費する食料はできるだけ自國で生産するとい

う「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結果になりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。この謂われにやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝を」祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

生産現場の視点に立った農政運動を



常呂町農民同盟

委員長 尾角光弘

昨年を振り返って

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、平素より当同盟の活動に対しまして格別のご支援とご理解をいただき、心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が出て3年目になりますが、依然として終息の兆しが見えない中、インフルエンザの感染拡大も懸念されます。

昨年の常呂町農業協同組合の農業を振り返りますと、6月から7月にかけての適度な降雨と、8月からの月の悪まれた天候により、馬鈴薯や玉葱は過去最高水準の豊作、甜菜も例年を上回る収量でした。しかし、酪農においては、世界的な人口増加と穀物需要拡大により飼料価格は上昇している中で急激な円安が拍車をかけ、當農を圧迫しています。社会経済活動再開に舵を切りましたので、今年こそ以前のような生活に戻れるよう願うばかりです。

日々ぐるしく変わる農業情勢

格が引き上げされました。畑作では経営所得安定対策交付金の見直しによる引き下げや、當農資材の高止まりで先行きが見えない状況であります。今年においては、こうした局面が変わり、酪農、畑作ともに良い年となることを願うばかりです。

インボイス制度開始

格低迷など経営に深刻な影響がでています。我々農民同盟といたとしても、地区連盟や同農連を通じて、現場の状況を関係機関に報告し、必要な対策を要請して行きたいと思います。

格低迷など経営に深刻な影響がでています。我々農民同盟といたとしても、地区連盟や道農連と連携を取り、新たな事業の周知と内容の精査を図ることともに、農業者が取り組みやすい事業となるようになり組みやすい事業となるようになります。

令和5年10月からはインボイス制度が導入されます。インボイス制度とは、消費税の仕入れ税額控除の保存方式で、この制度が導入されると、適格請求書発行事業者以外の課税事業者や免税事業者からの仕入れを仕入税控除できなくなります。法律上では義務ではないものの、取引上は不利になることから、課税事業者

は登録により適格請求書発行事業者になることが求められ、免税事業者は課税事業者として適格請求書発行事業者となることが求められます。

今年こそは、色々な情勢が落ち着き良い年になるよう心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



網走農業改良普及センター

所長 山 上 朝 香

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、網走農業改良普及センターの活動に対しまして格別のご支援ご協力をいただき、心より感謝申しあげます。

昨年を振り返つて
令和4年は春先の天候に恵まれ、播種・植付け作業は順調に進みました。5月の強風により玉葱で葉先枯れが、6月の低温寡照により秋まき小麦の出穂にばらつきが、8月の降水により一部で作物の浸水被害もありましたが、総じて生育は平年並に推移しました。

令和5年の抱負

10月に入ると天候が優れず、豆類などで倒伏による収穫遅れなどの作業停滞が見られました。主要作物の収量は平年対比103～110で、まあまあの結果となりました。これは、飼料・肥料・資材などの高騰という厳しい情勢の中、皆さんが真摯に営農に取り組んだ結果であり、心より敬意を表します。

出身ということで、北見市民として誇らしい気持ちになりました。

小さな身体と対照的なエヌルギッシュぶりから「クレイジー・スイーパーズ」と呼ばれている、常呂町出身の吉田夕梨花選手と鈴木夕湖選手。

1回につき陸上短距離走並に心拍数が上がるスクープを第10エンドまで繰り返すには、かなりの体力が必要ことでしょう。「もぐもぐタイム」が重要なのがわかります。もし

かしたら選手の皆さんは「ところピンクにんにく」を愛用しているのかかもしれません。私も引き続き、普段の食事に

このピンクにんにくを取り入れたいと思います。

また、「笑顔の暗殺者」と呼ぶべきもの、日本カーリングの源流と言える常呂町の

も、重大な局面でJHAどころ組合員の皆さまが思い切って

ショットを放てるよう全力でスイープし、コミュニケーションを図りながら現場課題の解決に取り組んで参りたいと思います。本年が皆さまにとって最良の年でありますようにからご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ばれる藤澤五月選手が「ちなみに(常呂町出身の吉田知那美選手)がポジティブな言葉をかけ続けてくれて、落ち込みそうになったときも全員で乗り越えられたと思う」と話しており、吉田選手は、重大な局面で藤澤選手の背中を押す重要な役割を果たしていました。また、4人に故障などがない限り試合には出られないけれど、次の試合に向けストーンのチェックなどを肃々とこなす石崎夢美選手にも頭が下がります。

メンバーが互いを認め信頼し合い、「本音のコミュニケーション」を追い求めたことが、メダル獲得につながったのだと思います。

網走農業改良普及センター

農業振興計画を検証

～第9次農業振興計画策定検討委員会～

JJAとこには12月12日、J

A会議室で第9次農業振興計

画策定検討委員会を開き、生

産部会と担い手部会の関係者

29人が出席しました。

令和4年度は5ヶ年計画の

2年次目となり、令和4年度

事業について振り返り、課題

や対策について協議しました。

農畜産物の生産振興では各

生産部会から意見が出された

ほか、酪農では厳しい現状に

対し強い要望が出されました。



●質問に回答する川上和則組合長



●会議に出席した各生産部会の代表者の皆さん

また、組合員との対話活動においては女性農業者との対話を非常に有意義だったことから、今後においても継続してほしいなど前向きな意見も出され、本計画の柱である「組織づくり、ひどづくり、ものづくり」に向けてつづり、話し合う活動の大切さが再確認されました。

農業後継者育成研修会

STGS

SUSTAINABLE
TOKOROATOTSUGI GOALS
school

第2回

JA組織・肥料情勢について学ぶ



●肥料の説明をする
ホクレンの澤永課長



●管理部を紹介する
田渕部長



●研修に出席した皆さん

農業後継者育成研修会

STGS

とは

サステイナブル（持続的な）、常呂後継ぎ育成、ゴール（目標）、スクール（研修）を意味し、参加者に親しみやすい研修名を、と営農企画課職員で考えた研修会名です。

JJAとこには11月29日、JAと職員5人の合わせて22人が出席しました。

第2回目の開催となる本研修では、第3講『系統肥料事業について』と題して、ホクレン北見支所生産資料課の澤永雄介課長を講師に招き、世界の肥料情勢やJAグループの予約購買の概念、系統の肥料事業の特長を説明して頂きました。引

き続き第4講では『JAとこの部署紹介』と題し、田渉一（管理部長）、築紫洋平（経済部長）、武田一宏（営農部長）より各部署の主な業務内容をそれぞれ説明しました。

研修を終えた出席者からは、「肥料の流通や情報、農協ではどんな仕事をしているか詳しく知れたので良かった」と感想の声が上がりました。





● 日本醤油工場(株)を視察



● ホクレン道央支店にて記念撮影



市場で流通している青森県産のにんにく



● 市場を視察する山内部会長



(左上)近況を報告する馬木支部長

(下)次年度に向けて様々な意見が出されました

～常呂町にんにく耕作者部会婦人視察研修～ 流通を知る

常呂町にんにく耕作者部会（山内英之部会長）は11月24日から25日の2日間で婦人視察研修を行い、山内部会長をはじめ5人の生産者が参加しました。初日は札幌市のホクレン道央支店を訪問し、流通開発課からオンラインショップの現状や新しい企画について、ところピンクにんにくの販売状況の説明を受けました。参加者から「新しい企画をJJAどころの作物でもできないか」など積極的な意見交換が行われました。

翌日には旭川市にある日本醤油工業株を視察し、醤油の製造場所を見学しました。工場関係者からは「ところピンクにんにくの『デザインの統一感』や『売り出し方』には非常に好感が持てるため、より一層行っていて欲しい」と称賛されました。翌日にはホクレン東京支店、株平果を訪問し、意見交換を行いました。担当者から「ところピンクにんにくの通年販売を目指し、安定した供給はできないか」などの意見や要望がありました。

今回の視察を通じて得られた市場の現状や課題など、常呂町のにんにくの産地強化に向けて改めて考える有意義な視察となりました。

国内のにんにく市況を知る ～常呂町にんにく耕作者部会 視察研修～

常呂町にんにく耕作者部会の山内部会長は12月12日から13日の2日間、視察研修を行いました。初日は横浜丸中青果株と東一川崎中央青果株を訪問し、本年のにんにくの市況や青果物の状況について説明を受けました。市場関係者からは「ところピンクにんにくの『デザインの統一感』や『売り出し方』には非常に好感が持てるため、より一層行っていて欲しい」と称賛されました。

翌日にはホクレン東京支店、株平果を訪問し、意見交換を行いました。担当者から「ところピンクにんにくの通年販売を目指し、安定した供給はできないか」などの意見や要望がありました。

今回の視察を通じて得られた市場の現状や課題など、常呂町のにんにくの産地強化に向けて改めて考える有意義な視察となりました。

鳥獣から農地を守る方法を検討 ～常呂町農協有害鳥獣対策協議会～

常呂町農協有害鳥獣対策協議会（川上和則会長）は12月14日、JJA会議室で有害鳥獣対策協議会を開き、各地区の対策委員をはじめ、関係者16人が出席しました。

同協議会では、令和4年度の有害鳥獣捕獲などの実績報告及び各地区の被害状況を踏まえて次年度の被害対策の検討が行われました。出席した獣友会常呂支部の馬木昇支部長は「鳥獣被害は全道的に拡大してきている。また、クマの目撃情報や痕跡が確認されていることから、十分注意してもらいたい」と話しました。

プロの味を学び、より豊かな食卓を!

～女性部・フレッシュユミセス部会役員合同研修～

JJAとじゅう女性部（麻富郁子部長）は11月29日、ファーマーズハウス『うえる』で女性部とフレッシュユミセス部会の役員合わせて10人が参加し「令和4年度役員合同研修」を行いました。

今回は鶴雅リゾートグループの元シェフ、岐阜地区の松本一紘さんとアシスタントで奥さんの瑠美さんを講師に招き、常呂町の農産物を使った料理講習会を開きました。

今回は玉葱、馬鈴薯、南瓜、ところピンクにんにくなどを使用した「とり肉のクリム煮」「じゃがいもとひき肉のグラタン」「ガーリッククライス」「南瓜のチーズケーキ」を披露していました。



● 参加者はメモを取りながら、プロの技を真剣に学びました

今日からできる！松本さんのヤバいジャンジレシピ



作り方

- ★エビ10尾 ★酒(下処理用)50cc ★片栗粉 適量 ★オリーブオイル
エビマヨソース ★マヨネーズ 24g
★れん乳 3g
★ヤバいジャン 3g
★レモン汁 少々
- ～エビマヨ～
- ①エビの殻をむき、背ワタを取って酒をもみ込む
②マヨネーズソース(★)を混ぜておく辛みが足りなければジャンを追加
③エビに片栗粉をまんべんなくます
④フライパンにオリーブオイルを引き、エビを焼く
⑤両面焼き色がついたら取り出して油を切る
⑥粗熱が取れたら②のソースとエビを絡める(粗熱をとらないとソースがとけます)
⑦盛り付けて完成！



JJAとじゅう女性部フレッシュユミセス部会（清井優奈部会長）は11月28日、オンラインで開かれたオホーツクJJA女性協議会主催の「フレッシュユミセス部員研修会」に部員16人がJA会議室から参加しました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインでの開催となりましたが、管内フレッシュユミセス部員約110人が参加し、画面を通じて交流を図りました。

JJAとじゅう女性部フレッシュユミセス部会（清井優奈部会長）は11月28日、オンラインで開かれたオホーツクJJA女性協議会主催の「フレッシュユミセス部員研修会」に部員16人がJA会議室から参加しました。



● ヨガを習う参加した皆さん。疲れが取れそうだと好評でした

ヨガでも体もリフレッシュ！

～オホーツクJJA女性協議会～

フレッシュユミセス部員研修会



水瓶座
1/20
～2/18

全体会 上昇運です。周囲が協力してくれ良い方向に進みます。1人で悩まずに相談を。良い知恵も貰ってもらえるはず

健康運 手足を冷やさないよう、しっかり保温を

幸運の食べ物 レンコン



今月のあなたの運勢



魚座
2/19
～3/20

全体会 自分の意見を少し譲ると思っていた以上にスムーズに進みます。予定や計画も実行しやすいよう手を加えてみて健康運 ホットミルクでカルシウムを補給して幸運の食べ物 イカ



優勝目指して大健闘!

～女性部スポーツ交流会～



● 玉入れは「なかなか入らない」と大盛り上がり



● 綱引きで他のチームを圧倒した緑チーム



● 優勝した赤チームの皆さん。おめでとうございます！

JJAといふ女性部は12月8日、北見市常呂町スポーツセンターでスポーツ交流会を開き、女性部員とフレッシュユミセス部会員合わせて34人が参加しました。

交流会の内容は女性部役員とフレッシュユミセス部会員が考えた6種目を競うミニ運動会で、4チームに分かれて豪華景品をを目指し奮闘しました。

チーム分けは世代、地域など考慮せず全員シャツフルで編成されており、競技を通じて交流を深めました。

参加した部員からは「久しぶりに声を上げて応援したり、身体を動かしてすっきりした」「来年もあつたら次は優勝目指して頑張りたい」などの声が上がりました。



● スリッパ飛ばしが勝敗の分かれ目に

今回の競技内容

- ・玉入れ
- ・モップリレー
- ・○×クイズ
- ・ストラックアウト
- ・綱引き
- ・大逆転！スリッパ飛ばし



● 小野寺さんの発表に、多くの参加者が関心を寄せていました

大会終了後には交流会が行われ、管内のクラブ員との交流を深め、農業振興に努めたための意欲向上につながる大会となりました。

オホーツク総合振興局は12月13日、端野町公民館で「オホーツク管内青年農業者大会」を開き、常呂町4Hクラブ員19人が参加しました。

本大会では、同クラブの小野寺勇太さんが「ドローンによる馬鈴薯の一貫防除試験」と題し、馬鈴薯の疫病・アブラムシ防除をドローンで行い、ドローン防除がスプレイヤー防除と同等の性能であることを発表しました。

馬鈴薯のドローン防除について発表

～管内青年農業者大会～



射手座
11/23
~12/21

全体運 ピンチをチャンスに変える力強さがあります。状況は厳しくても諦めないで。反対意見に耳を傾けると逆転へ
健康運 適度な運動が大切。何事もやり過ぎないで

1月
今月のあなたの運勢
幸運の食べ物 ミカン



山羊座
12/22
~1/19

全体運 勢いのある好調運ですが独り善がりにならないよう。周りの人とのことを想って行動すると好結果に。金運も良好
健康運 ゆったりティータイムで心の疲れも改善
幸運の食べ物 ほうれん草



退職のお知らせ

厳冬の候、組合員の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、この度私事ではございますが、12月末をもって定年退職するとなりましたのでご報告いたします。

昭和58年から40年間の長きにわたり組合員の皆さまをはじめ、役職員の皆さまより一方ならぬご厚情を賜り、定年まで勤められることに対し、厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、畜産から始まり管理課、農協デパート、資材課、販売課、経営相談など様々な



管理部 管理課
塩田 常浩

業務に携わらせていただき、皆さまにたくさんのご迷惑をお掛けしながら、無事定年を迎えることができます。



(上)インボイス制度について説明をする瀬尾氏
(下)制度概要の説明を聞く組合員の皆さん



(上)新剤の説明をするクミアイ化学㈱の上田氏
(下)農薬情勢の説明を聞く組合員の皆さん

インボイス制度開始に向けて

JJAところは12月15日、JJA会議室で令和5年10月1日から開始する消費税の「インボイス制度」について説明会を開き、組合員54人が出席しました。

同説明会では北見税務署個人課税第一部門財務事務官の瀬尾海周氏を講師に招き、制度の概要について動画を用いて説明がありました。

出席した組合員からは、適格請求書の発行が必要になってくるケースや申請手続きの方法などについて質問が出され、インボイス制度に関する理解を深めた説明会となりました。

農薬への理解深める

農薬講習会

JJAところは12月16日、JJA会議室で令和5年度農薬講習会を開き、組合員28人が出席しました。

講習会ではホクレン北見支所生産資材課の中山颯太氏、クミアイ化学㈱の鳥本邦栄氏、上田憲氏、ホクサン㈱の石倉直和氏、シンジエンタジャパン㈱の佐藤孝久氏、日本農薬㈱の高村恭平氏を講師に招き、主に防除ガイドに記載された新規農薬の特性や使用上の注意点などの説明がありました。また出席した組合員から新規農薬についての質問や意見などが提出され、次年度の営農に向けて実りある講習会となりました。



天秤座
9/23
~10/23

全体運 時間調整の難しいとき。1人で動いた方がストレスは少ないぞ。
共同作業が必要なことは丁寧に説明を
健康運 感想を防いで風邪を予防。スキンケアにも効果あり

幸運の食べ物 山芋
運勢

蠍座
10/24
~11/22

全体運 情報収集に力を入れて。問題解決に近づきます。いつもの作業にも新たな気付きがありそう。清掃や洗濯にツキ
健康運 デトックス効果のある食材で元気を回復
幸運の食べ物 野沢菜



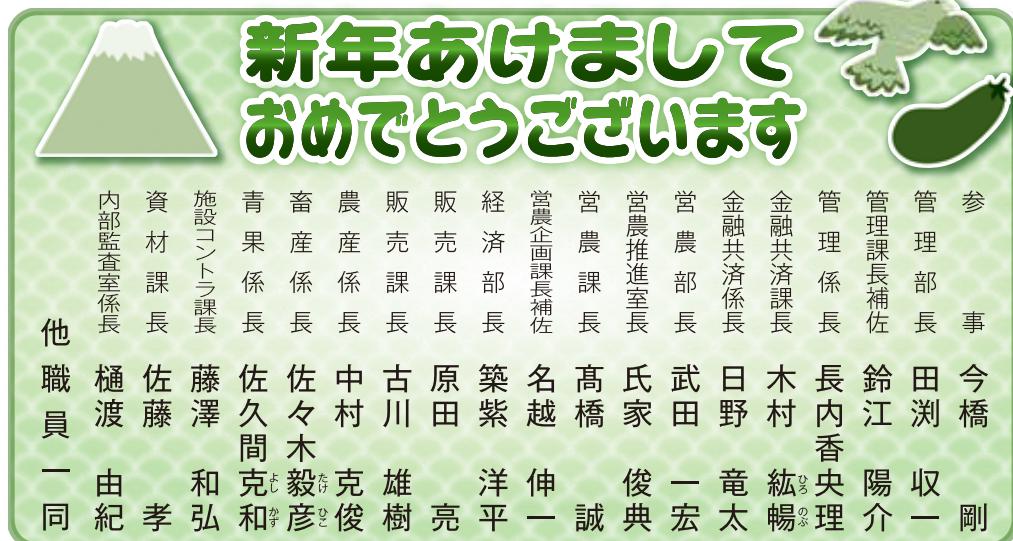
**新年あけまして
おめでとうござります**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---------|
| 監 | 代 | 理 | 常 | 副 | 代表理事組合長 |
| 表 | | | 務 | 組 | |
| " | " | " | " | " | |
| 小 | 今 | 鈴 | 石 | 羽 | 石 |
| 笠 | 監 | 今 | 林 | 理 | 江 |
| 原 | 事 | 事 | | 事 | 長 |
| 原 | 橋 | 橋 | 澤 | 山 | 田 |
| 啓 | 正 | 洋 | 孝 | 規 | 茂 |
| 聖 | 弘 | 剛 | 彰 | 靖 | 実 |
| 人 | ひ | と | 廣 | | 哲 |
| | | | | | 則 |
| | | | | | 幸 |

| | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 副 部 | 書 副 部 | 副 会 | 組合長 |
| 〃 部 | 記 部 | 会 会 | 副組合長 |
| 他 長 | 他 長 長 | 他 長 長 | 〃 |
| 役 向 梅 麻 | 役 小 寺 今 | 役 大 橫 | 他 佐 堀 土 |
| 員 田 畠 | 員 林 町 橋 | 員 江 山 | 野 田 田 |
| 一 修 陽 郁 | 一 輝 太 博 | 一 英 弘 | 一 彰 雅 龍 |
| 同 子 子 子 | 同 和 智 行 | 同 元 行 | 同 洋 仁 も |
| 常呂町農協女性部 | 常呂町農協青年部 | 常呂町酪農振興会 | 常呂町南瓜生産組合 |

| 常呂町農業担い手 受入協議会 | | 常呂町4Hクラブ | |
|-------------------|------------|-----------|-----------|
| 副 会 他 | 副 会 他 | 副 会 他 | 副 会 他 計 |
| 会 長 | 会 長 | 会 長 | 会 長 久 世 |
| 長 | 長 | 長 | 安 藤 |
| 役 員 | 役 員 | 役 員 | 田 房 |
| 役 員 | 役 員 | 役 員 | 役 員 |
| 員 | 員 | 員 | 員 |
| 一 静 正 敏 | 一 圭 光 卓 | 一 文 彦 俊 | 一 壮 大 達 |
| 同 子 行 洋 | 同 介 弘 昆 | 同 同 喜 | 同 大 賴 也 |
| 友 の 会 | 年 金 | の 会 | の 会 |
| 利用者 | 青 色 申 告 会 | 4 H ク ラ ブ | 4 H ク ラ ブ |
| 常呂町農業青色申告会 | 常呂町農業青色申告会 | 常呂町4Hクラブ | 常呂町4Hクラブ |

常呂町にんにく 耕作者部会



卯年の職員

～今年はこんな年にします～

充実した
1年にしたいです。

経済部施設コントラ課長
藤澤 和弘
S50年7月生まれ

物事が良い方に向かいますように。
向上心を持って行動したい！！

當農部當農課長
高橋 誠
S50年12月生まれ

新しいことにチャレンジして成長できる1年にしたいです。

管理部管理課
佐藤 七星
H11年6月生まれ

ピョンピョン跳ねるうさぎのように、元気に過ごせる1年にしたいです。

経済部資材課
川村 可奈子
S38年11月生まれ

何事にも全力で取り組む1年に！

管理部金融共済課
藤林 信久
H11年12月生まれ

受け身にならず、今年は攻める1年に！

経済部資材課
尾形 竜都
H11年1月生まれ

第10回理事会報告 <11月22日開催>

- ・資金貸付に伴う農協と理事の契約について
- ・令和4年度の施設利用料金の徴収について
- ・令和4年産共計玉葱の仮渡金について
- ・令和4年産原料てん菜共同計算概算払いについて
- ・令和4年産共計小豆の仮渡金について
- ・令和4年産共計大豆の仮渡金について
- ・組合員の出資金譲渡について
- ・給与規程の一部改正について
- ・労働組合からの要求事項について
- ・年末手当の支給について

- ・10月末仮決算報告について
- ・令和4年産共計小麦の概算精算について
- ・令和3年産加工生食馬鈴薯（男爵）本精算について
- ・内部監査及び監査代替的調査（期中Ⅱ）結果の報告について
- ・内部監査報告について
- ・固定資産の取得について（100万円以下 税別）
- ・第13回JAところ収穫“菜”開催報告について
- ・組合員研修「リーダー育成道内視察研修」の開催について
- ・子会社の監査報告について
- ・組合員の異動について
- ・農業委員会報告について

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、お菓子の詰め合わせをプレゼントします。



先月の当選者・解答

12月号の○×クイズの答えは「Q1が×、Q2が×」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

石澤 健さん（富丘）※（ ）内は地区名です。

読者の声

★収穫菜が大盛況で良かったです。たくさん的人が常呂の味覚で笑顔になれますように。
(匿名希望)

★朝晩とかなり冷え込んできました。
風邪に気を付けて過ごします。
(匿名希望)

編集後記

- ・組合員の皆さん、そしてご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年は当JA広報誌をご愛読いただきありがとうございました。本年も皆様により一層親しまれる広報誌作りを目指してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。園田



牡羊座

全體運 気持ちを引き締め丁寧な所作を心がけて。高めの目標設定が良い
運気を呼び込みます。あいさつ回りと夏祭りソック

健康運 楽しみながらできる運動がお勧め 幸運の食べ物 シュンギク

1月
今月のあなたの運勢

牡牛座

全體運 早めのスタートが勢いに乗るコツ。予定は前倒しで進めましょう。
伝統文化に触れる機会を大切に。和服も◎
健康運 腹も身の内。バランスの良い食事で安泰 幸運の食べ物 もやし



卯年生まれの お子さん



新年に向けた一文字を
書いてもらいました

[設問内容]

- ①趣味・特技
- ②ご両親から
一言
- ③一文字を選んだ理由



いまはし じょう
今橋 丈さん

平成23年8月生まれ

父:賢一さん

- ①ドッジボール、バドミントン、スケート
- ②小学校生活最後の1年。
丈にとって素敵な1年に
なりますように。
- ③去年できなかったことに
どんどん挑戦していきたい



当日、JAところの
ピンク色のハッピで
皆さんをお出迎えした
名越伸一営農企画課長補佐

あぐり恋活2022 with ところ 3年ぶりの開催で大盛況!!

J Aところは12月3日、北見市内で3年ぶりとなる「あぐり恋活2022withところ」を開き、男女合わせて18人が参加しました。



当日はボウリングを通じて
交流を深めました

このイベントは農業青年が町外の女性とイベントを通じて交流することで常呂町の魅力を知ってもらい、さらに交流の輪を広げることを目的としています。

当日はレーン対抗のボウリング大会を行い、その後オホーツクビアファクトリーで懇親を深めました。終始笑い声の絶えない会となり、参加した女性からは「普段話す機会の無い農家さんと話ができるとても楽しかった」との声が上がりました。

今月の 表紙

常呂町の大地を照らす日の出

新年号の表紙は4年ぶりとなる日の出を掲載しました。

氷点下12度を下回る早朝、常呂町の絶景ポイントである東浜高台の農道から撮影しました。

当日は風のない透き通った空気の中での撮影で、太陽が昇り、陽光が大地を照らしていく姿は息をのむ美しさでした。
(令和4年12月21日、午前7時00分撮影)

